

OSK KHJ 岡山きびの会

平成 12 年 9 月 20 日 第 3 種郵便物認可(毎月 25 日発行)

平成 29 年 3 月 23 日 OSK 増刊通巻 524 号

<http://kibinokai.ciao.jp> 「メッセージ・21」

第 162 号(平成 29 年 3 月)



『KHJ 岡山きびの会』のご案内

2016 年度 年会費 正会員 6000 円 賛助会員 3000 円
月例会参加費 正会員 500 円 正会員以外の方 1000 円

郵便振込先 01380-6-77803 KHJ 岡山きびの会

※ご入会・ご寄付は随時受け付けております。

連絡先 会長 川島核三 〒708-0821 津山市野介代 5 2 6 - 3 0 【電話】090-7541-5263

居場所 岡山市北区表 1 丁目 4-64 上之町ビル 4 階 (市電・城下電停すぐ、アーケードに隣接)

月・水・土曜：午前 11～午後 4 時、

金曜：午後 1 時～6 時 (詳しくは巻末をご覧ください)

「KHJ 岡山きびの会」の願い

不登校・ひきこもりの子どものことで悩んでいる親どうしが情報を交換し、親の気持ちが癒され、元気づけられ、「この子がいてくれて本当に良かった」と心から思えるようになることを目指します。そして本人たちが自分の意思と選択と決定において生き生きとして社会参加できるようになることを支援します。

グループでの話し合いの約束

- ここでの話はここだけのことにしましょう。
- 相手の話は受容しながら聴きましょう。
- 非難・批判はしないようにしましょう。
- 長く会に参加している人は新しい人に手をさしのべましょう。

＜平成29年3月例会のお知らせ＞

日 時 平成29年3月12日（第2日曜日）午後1:00～4:00
場 所 きらめきプラザ2階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方2丁目13-1 電話：086-231-0532
内 容 ●「KHJ岡山きびの会に期待したいこと」
「ひきこもり地域支援センター」についての岡山県の構想
会員同志の自由討議
●ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）
参加費 正会員 500円 正会員以外の方 1000円

＜平成29年4月例会のお知らせ＞

日 時 平成29年4月9日（第2日曜日）午後1:00～4:00
場 所 きらめきプラザ2階 ゆうあいセンター 大会議室
岡山市北区南方2丁目13-1 電話：086-231-0532
内 容 ●Saitoh君の体験発表「発達障害と向き合った半生」
●ひきこもり相談会（役員による来談者へのオリエンテーション）
参加費 正会員 500円 正会員以外の方 1000円

当事者主体の社会づくりをめざして

難波規子（もみじの会）

<自己紹介>

中学の時、山口百恵の赤いシリーズを見て心理学をやりたいと、広大心理学科を卒業。思春期の思いは人生を決めていく。備前焼を高校で教えていた祖父に「これからは心の時代。一つのことを 10 年やればものになる。」と言われたことが心に残っている。

5 歳まで備前で育ち、広島・岡山市で暮らし、岡山・東京で契約社員の OL。自己啓発セミナー・アートセラピーを学び、国府台病院で精神科デイケアの研修生から足立区の T 病院に心理職で入職。途中、現認者講習で精神保健福祉士 (PSW) を取って 19 年半相談員として働いた。患者さんが立ち上げた当事者会や不登校の親の会で市民活動をしてきた。

去年 2016 年 4 月備前市に U ターン。夫と 19、16 の息子と 4 人家族で移住。

<息子の経緯>

両親共働きのため保育園。夫の仕事が泊まりもある仕事だったため、送迎は半々で協力して子育てしてきた。次男の出産の時は岡山に里帰り出産し、保育園も転園して絵本の読み聞かせをしたり、親子の関係もゆっくり楽しんで過ごせた。

元の保育園に戻った時のエピソードとしては、暴れる子どもがいて手を焼いていたクラスもおっとりしたうちの子がいることで落ち着いた雰囲気になるような面があった。まわりに振り回されないとこがある。「芯がある子だから大丈夫」と言われたこともある。

小学校の宿泊研修を嫌がり、夫と抱えて連れていき、無理やりバスに押し込んだことがあった。行ってしまえば平気で、先生からは大丈夫ですと言われた。6 年で万引き騒ぎに巻き込まれ、その時の話は、本人からは事情を聞いていない。他の子どもとその親達とは声かけあって話し合いをした。

中学は同じ小学校の子どもも多く、「しゃべらない男」で通していた面がある。思春期に入り、緊張も強かったような気がする。2 年の秋に頭痛を訴え、養護の先生に呼び出され心配してもらったことがあった。2 月から学校に行けなくなり、「2 年生のうちで良かったですね。」と言われたが、3 年になり 2 日ほど行ったが、また行けなくなった。

進路の心配などもあり、7 月で仕事を辞めて、スクールカウンセラーや教育委員会の教育相談に行ったり、子どもと出かけたりして、子どものために時間を使うようにしてきた。フリースクール、通信制サポート校、定時制高校、3 部制の高校、NHK 学園など見学にいったりもした。選んだ進路は、夜間中学。当時は中学の卒業証書をもらうと行けないので、卒業しない選択をした。

夜間中学は、1 か月は母子一緒に通い、机を並べて勉強した。その後の 1 か月は一人で通った。でも、また行けなくなり、不登校。一度、スマホが欲しいと父親にねだり、買ってもらった義理で一時期通って、先生にもほめられたが、また行けなくなった。弟が高校入学するのに合わせて移住の計画が決まっていたので、今後をどうするか先生と相談し、卒業することとなった。校長室で卒業証書もらった。本人も卒業は良かったと言ってくれた。

一応、頑張っで定時制高校を受験するも不合格。現在、どこにも所属していない。

<不登校の取り組み>

学童保育のことで一緒に活動していた友人が、子どもの不登校を経験していたこともあり、千葉の北松戸にある「ひだまり」を見学して、自分たちも親の会を立ち上げようと足立区で「ほっとカフェ虹」の活動を始めた。「不登校新聞」にも載せたので電話相談もやりながら活動。江東区の「のびるの会」と協力して、「翼を抱く子どもたちへ」という親子応援ガイドブックを作った。東

京東部地域の教育委員会に働きかけて情報をもったり、東京シューレの葛飾校や不登校情報センターという団体もあり、充実した内容になった。教育委員会や学校にも配って、不登校で悩み戸惑っている人たちの助けになる冊子になったように思う。

長崎の不登校の当事者が作る冊子「今日も私は生きています」があるが、この会をサポートしている広木克行先生は、親にも子にも寄り添ういい支援をされていて、東京に移られたので講演会もしてもらった。神戸の教育委員会の助言者にもなっていて、取り組みにかかわっていかれている。そういう社会を変えていく努力も大切だと思う。長崎では、当事者が訪問するような取り組みもされている。

去年夏には神戸であった「全国をつどい」にも参加した。今年は東京で予定されている。

<医療との関わり>

東京では移住を決めていたので、受診を勧められたが岡山に来てからと思っていた。備前の相談支援センターに相談し、県の精神科医療センターにかかることにした。5月に初診。大人の発達障害の専門外来をと予約が取れたのが7月。本人を説得して連れて行ったが、本人がかかりたいわけではないため、本人ひとことしゃべらず、**場面緘黙**と言われる。**診断は広汎性発達障害、自閉症スペクトラム**。東京の友人とゲームの話で盛り上がる時には饒舌に楽しそうに話す。医者はどこまでわかっているのか疑問。

なまじ医療の知識もあるので、各方面に相談し、本人にも会ってもらいたいと、10月、自宅で支援会議のような機会を作ってもらった。病院から心理士、保健師、障がい福祉課担当、相談支援センター担当、発達障害支援センター担当が集まり、話し合い。本人にも挨拶してもらおう。

11月に手帳も申請。

<家族会>

医療機関には期待が持てないと思ったが、家族会の活動は良かった。岡山で約50年になる古くから活動を続けている家族会で、作業所も作ってきた。家族学習会を毎年5回シリーズでやっていて、統合失調症を中心にした内容だが、じっくり話をすることができ、経験を分かち合える。家族の関わりとして学ぶべきところは多々あると思う。アドバイザー研修会や岡山市ではピアサポートなどもやっていて、川島会長が主張されている第4極である当事者主体という軸の糸口になっていくように思う。

<市民活動>

足立では様々な市民活動に参加した。「子どもど真ん中プロジェクト」「コミュニティカフェ」「哲学カフェ」「子ども食堂」などもやる仲間がいた。「夜間中学を考える会」では国会議員会館で先生や生徒OBなども参加して、超党派の議員連盟とやりとり。マスコミも呼んで記者会見したり映画会をやったりした。

<これからの社会に必要なのは？>

リハビリという言葉と違う概念で「リカバリー」という考え方がある。障がいを抱えたままで、新しい生き方をまわりも変化させながら作っていく。病院、学校、地域でも上下関係のような画一的な関係になりがちだが、共に変化していく関係を作っていく必要があると思う。

家庭は本人が社会に出ていく練習の場になっていると思う。親がどういう思いで外部と接しているかというのを本人が感じていて、その関係を作っている面もあると思う。そういった関係も振り返りつつ、これからはみなさんと一緒に考えていきたい。

お知らせ揭示版

社会の第4極としての 「ひきこもり地域支援センター」 の確立を！！

「KHJ岡山きびの会」は誰もが希望をもてる社会をめざす「ひきこもり地域支援センター」の理念として、社会の第4極の確立を目指す。第1極は政府の統治、第2極は政府に対立する野党、第3極は両者を調節する様々な中間的社会福祉団体、第4極は個人の人格を最大限尊重する客観的・普遍的制度である。その4つの極を調和的に調節し、社会が進化・発展するシステムの開発を積極的に構築することに貢献する。

KHJ岡山きびの会はこのことをKHJ本部と岡山県精神保健福祉センターに申請することを提案します

NPO法人津山・きびの会

トトロの家の住所

708-0863 津山市小桁 137-2

連絡は川島の携帯にお願いします

連絡先

川島かい三 (090-7541-5263)

3月18日(土) 18時からユーズボールでボーリング大会を予定しております。お気が向きましたらご参加ください。

また3月25日(土)には、第6回トトロサロンとして「カタクリの花を愛でる会」を予定しています。去年は3月31日でしたが、丁度花が満開でした。今年もこの頃には咲きそろうことでしょう。桜よりちょっと早く咲きます。お楽しみに・・・

ご感想・ご意見 (2月例会)

2011年3月11日に東日本大震災が起りましたが、その数日前の3月4日に、津山では映画「アンダンテ～稲の旋律」上映会の上り、小西勝之氏の「究極のセーフティネットを求めて」という講演会をしました。その晩小西氏と徹夜で語り合っていた時、KHJ代表の奥山雅久氏の死の第一報が入りました。忘れられない出来事でした。先日1月8日にKHJの共同代表・伊藤正俊氏が岡山に来られましたが、彼のテーマが「誰もが希望をもてる社会を目指す」ことであり、今回の難波さんの「当事者本位の社会をめざす」ことと同じです。この三つの表現は私たちの第4極の確立ということに繋がります。これは客観的・普遍的な社会制度として確立することが急務であることを意味しています。みんなで頑張りましょう！！

当事者学級

おねがい！

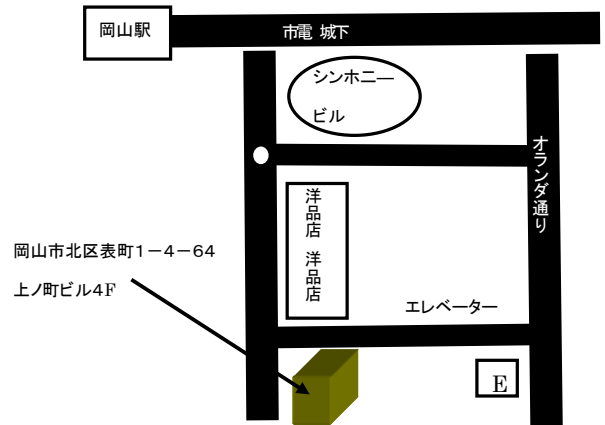
「月例会」のお手伝いいただけませんか(樋谷まで)

- 会場設営と片付け
- 受付、会報配布
- 案内版を書いて出す
- 駐車券の手配
- その他の手伝い

3・4月岡山きびの会 居場所・行事カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			3月1日 居場所	2	3 居場所	4 父親学級 居場所
5	6 居場所 12時～17時	7	8 居場所	9	10 居場所	11 家族教室
12 月例会	13 居場所 12時～17時	14	15 PC教室 居場所	16 健康教室	17 居場所	18 松田先生 居場所
19	20 春分の日 休み	21	22 母親学級 居場所	23	24 居場所 役員会	25 若者学級 居場所
26	27 居場所 12時～17時	28	29 居場所	30	31 居場所	4月1日 父親学級 居場所
2	3 居場所 12時～17時	4	5 居場所	6	7 居場所	8 家族教室 居場所
9 月例会 総会	10 居場所 12時～17時	11	12 PC教室 居場所	13	14 居場所	15. 松田先生 居場所

岡山きびの会 居場所 地図



*居場所開催行事

家族教室 (原則) 第2土曜日午後1時半～4時 担当: 西紀子さん	
松田相談日 (原則) 第3土曜日午前9時～午後6時 担当: 松田勝カウンセラー ご予約: 中西 電話 090-9500-9618 または 086-955-2857 料金: 会員は1時間3,000円 ※定員8名とさせていただきます	
母親学級 (原則) 第4水曜日午後1時半～4時	父親学級 (原則) 第1土曜日午後1時半～4時
当事者学級 (原則) 最終日曜日 午後1時半～6時	
若者学級 (原則) 第4土曜日午後1時半～6時	当事者学級 (原則) 最終日曜日 午後1時半～6時
健康教室 (原則) 第3木曜日午前11時～4時 担当: 大阪府療術師会会員 大塚桂子さん	PC教室 (原則) 第3水曜日 午後3時～5時 お問い合わせ: 花谷 電話 080-1908-3861
役員会 第4金曜日 午後1時半～4時	関心のある方はどなたでもご参加ください

平成12年9月20日 第3種郵便物認可 (毎月25日発行) 平成29年3月23日発行 OSK増刊通巻524号
 発行所: 岡山障害者団体定期刊行物協会 702-8025 岡山県岡山市南区内尾 739-1 綾部小百合 (TEL 086-298-1162)
 無断での掲載、転写は禁じます。(定価100円は会費に含まれています)